

薬剤部だより No.235

山口大学病院薬剤部 2009.8.17



Rp 内の薬液量が投与速度に反映されるようになります

次期システムから容量の大きい製剤の単位(mL)を新たにマスター登録しました。これに伴い、Rp 内全ての薬液量が投与速度に反映されるようになります。特に抗がん剤は投与速度を間違えると重大な副作用を起こすおそれがあります。従って、抗がん剤の液量を考慮した上で、輸液量をmL単位で正確にオーダーして下さい。

(旧システム)	(新システム)
プラトシン50mg 100mL 1V	プラトシン50mg 100mL 1V
生理食塩液 500mL 1V	生理食塩液 500mL 400mL
時間あたり 250mL/h	時間あたり 250mL/h
所要時間 2時間	所要時間 2時間

新システムからは原則オーダーされた通りに混注を行います。

散剤印字対象薬追加のお知らせ

これまで漢方薬の散剤印字サービスは行っていませんでしたが、この度1病棟4階NICUより要望のあったツムラ六君子湯に限り印字ができるようになりました。この印字サービスに関する問い合わせは調剤室(TEL.2669)まで。

新注射薬調剤機が導入されます

新システム稼動と同時に注射薬調剤機が新しくなります。それに伴い、予定注射で使用している搬送カート及び個人セット用のボックスが変わる予定です。

注射薬の病棟ストック、外来救急薬品セットなどの見直しを行います

例年通り、9月9日(救急の日)に外来救急薬品セット、外来ストック、病棟ストックの見直し及び期限切れチェックを行います。各病棟におかれましては、救急カートの薬品が効率よく管理できるよう、種類・数量の見直しにご協力下さい。ご意見・ご要望等ありましたら薬務室(TEL.2667)までご連絡下さい。

中断薬・中止薬を区別して返却下さい

8月10日から中断薬と中止薬の取り扱い方法が明確になりました。薬剤部で作成した運用フローチャート(裏面)に従い中止薬のみ返却下さい。なお、中止薬が未使用の場合は「未使用」と明記して下さい。

後発品への変更を検討中です

今年度の緊急購入薬(当院常備でない薬剤)の購入金額が、昨年と同時期に比べすでに2000万円以上増加しています。これを踏まえ、イオパミロン370注シリンジ100mL及びユナシンS静注用1.5gの後発品への切り替えを検討中です。

ランダの後発品が新規採用されました

今回の薬事委員会において、ランダの後発品であるプラトシンが常備となりました。従来製品と製剤的には同等で、1Vあたりの価格が割安になります。

ランダ10mg : 3,465円	プラトシン10mg : 2,878円
25mg : 8,583円	25mg : 6,601円
50mg : 15,133円	50mg : 12,098円

包装変更のお知らせ

オキノーム散0.5%の内袋の形態がスティック包装に変更となり、製造番号も表示されるようになります。在庫がなくなり次第、新包装に切り替えとなります。この変更に伴い、服用時の利便性の向上が期待できます。

販売名変更のお知らせ

この度、「サクシン注射液」の名称が「スキサメトニウム注」に変更となります。これに伴い、在庫が無くなり次第、新販売名製品に切り替えます。なお、組成・性状・効能・効果・用法・用量・使用上の注意については、従来の製品から変更ありません。

残暑お見舞い申し上げます

薬剤部一同

中断薬・中止薬(持参薬を含む)の取り扱いフローチャート

